

植樹柵 / 保護蓋・歩道拡幅板

D107-1.01

平成 29 年 01 月

公園や歩道の樹木は、根を張るために周囲にある面積の土を必要とします。これを確保するために柵として囲われていますが、表面が土のままでは美観性が低く、根が踏まれて傷つけられたりします。そこで、根を保護しつつ美観を向上させるために、保護蓋を開発しました。また、柵内に設置して幅員を増やし、かつ保護蓋と比べて安価な歩道拡幅板を開発しました。

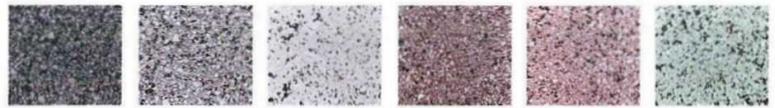
◆ 樹木保護蓋

樹木にとって大切な根を優しく保護して、豊富なデザインでそれぞれの街にあったものをお届けします。表面に透過模様を採用して、通気性、集水効果、採光性など樹木育成のための条件を満たしています。

本体標準色は、擬石仕様 6色、塗装仕様 2色を用意

縁石標準品は、擬石タイプとRCタイプの2種類を用意

擬石仕様



■C-10 黒擬石 ■C-11 灰擬石 ■C-12 白擬石 ■C-13 茶擬石 ■C-14 赤擬石 ■C-15 緑擬石

標準品

■擬石タイプ(白擬石)



■RCタイプ



縁石を据え付ける際は、必ず目地をお取りください。
※ご要望により、特注色のご注文も承ります。
※縁石のほかに鋼製アングル枠もあります。
※本体のみでも設置できます。

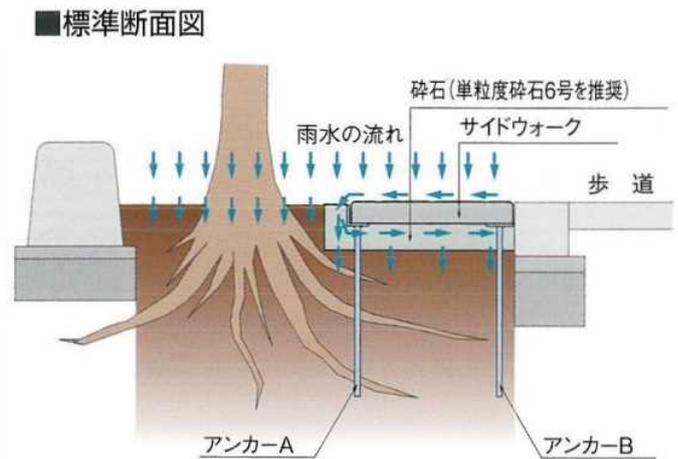


特注システムによるオーダーパターンが可能で、地域の特色を生かした街づくりが出来ます。



◆ 樹木柵内歩道拡幅板

植樹柵内に設置して、歩道の有効幅員を拡幅するために開発しました。碎石とアンカーで荷重を分散させて、碎石の毛細管現象を利用して製品下部にも雨水を浸透させます。



植樹柵があるために有効幅員が狭くなっており歩行者や自転車が転倒する危険性があります。

サイドウォークで問題解決

販売元：インフラテック株式会社

* 各社/各商品の詳細は、会員名簿から各社ホームページにアクセスして、参照願います。